

「大きくな～れ」

相模原市立の3保育園の園児約100人が、ドングリから2年かけて育てたクヌギとコナラの苗木を12日、さがみ湖ピクニックランド(同市相模湖町若柳)に植え付けた。(戸田 貴也)

相模原の園児

子供たちに、森林と樹木を育てる大切さを知ってもらおうと、教育と林業の関係者でつくる市民団体「子ども森づくり推進ネットワーク」が企画した。日本郵政グループが支援している。

この日は、淵野辺、中野、串川東部の市立三保育園の園児約百人が参加した。おとし五月に当時の五



2年間かけて育てたクヌギやコナラの苗木を植える子供たち
さがみ湖ピクニックランド

ドングリから2年 育てた苗木植える

六歳児(年長)が拾ったドングリを、年長組が引き継ぎながら育ててきた。

子供たちは、同ピクニックランド内のキャンプ場の木がまばらな一角で、二十本の苗木を植木鉢から取り出して植栽。手を合わせて「大きくなって」と祈っていた。

住民や園児の保護者でつくるサポーターが下草刈りを行い、苗木が成木になるまで見守るといふ。